



IoT横浜ラボ「都市部でのスマート農業」 新たに2件の実証実験を開始

横浜市は「IoT横浜ラボ」の取組として、横浜市内の農地を実証フィールドとして都市農業における農作業の省力化、農作物の栽培支援、営農環境の改善等をもたらす新たな製品・サービスの提案を令和5年1月から2月に募集し、3月に**6件を採択**しました。このうち2件は、すでに取組が開始されています。

(※令和5年8月7日記者発表「IoT横浜ラボ「都市部でのスマート農業」市内の農地で2件の実証実験を開始しました」参照)




この度、広範エリアの農場をカバーできる無線構築でスマート農業の普及に資する、新たな Wi-Fi 規格「IEEE 802.11ah (Wi-Fi HaLow™)」活用実証と、ビニールハウスに設置したセンサーにより取得したデータを活用して遠隔コンサルティングを行うスマート農業プラットフォームの実証実験開始についてお知らせします。その他の採択案件については、実施に向けた調整と準備が整い次第、実証実験を開始します。

実証実験詳細（企業名 50 音順）

1. 新たな Wi-Fi 規格「IEEE 802.11ah (Wi-Fi HaLow™)」の活用実証

企業名	東日本電信電話株式会社 
事業名	新たな Wi-Fi 規格「IEEE 802.11ah (Wi-Fi HaLow™)」の活用実証
実施概要	<p>ほ場内の監視を目的に、<u>農地のような広範なエリアをカバーする新たな Wi-Fi 規格「IEEE 802.11ah (Wi-Fi HaLow™)」</u>（<u>消費電力を抑えて長距離の通信を実現する通信方式</u>）を活用したカメラをほ場内に3か所設置し、映像伝送が可能か検証し、不法投棄や農作物盗難、鳥獣被害の早期把握につなげます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>不法投棄の防止</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>農作物の盗難防止</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>鳥獣被害防止</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">【実証実験イメージ画像】</p>
実施時期	令和5年12月中旬～令和6年1月31日（予定）
実施場所	苅部農園 ほ場（横浜市保土ヶ谷区西谷町 960-1（フレスコ直売所）） https://fresco-karube.com/about/ 

2. スマート農業プラットフォーム

企業名	株式会社マクニカ (PLANT DATA 株式会社、渡辺パイプ株式会社 と共同実施)	Co.Tomorrowing MACNICA
事業名	スマート農業プラットフォーム	
実施概要	<p>ビニールハウスでイチゴやトマト、キュウリ等の生産を行う農家に最先端センサーや栽培支援技術を提供。センサーから得られた情報を統合して可視化し、最新の営農ノウハウを活用した遠隔からのコンサルタント及び環境制御サービスの提供を行い、農業のDX化、業務効率化、収量増、品質向上、労務管理を目指します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【実証実験イメージ画像】</p>	
実施時期	令和5年10月25日～令和6年5月(実証実験開始済み)	
実施場所	自然館泉(横浜市泉区下飯田町1734) https://www.shizenkanizumi.jp/	

※ それぞれの実証実験について取材をご希望の方は、横浜市経済局産業連携推進課 (ke-sangyorenkei@city.yokohama.jp) 「I □ TOP 横浜担当」までご連絡ください。

I □ TOP 横浜 (IoTオープンイノベーション・パートナーズ) とは

横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等 (IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等) を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



I □ TOP 横浜
IoT Open Innovation Partners YOKOHAMA

I □ TOP 横浜ウェブサイト
<https://itop.yokohama/>



横浜で初めての万博となる 2027 年国際園芸博覧会の開催に向けて、横浜市では引き続き、IoT 等を活用した新たな製品・ビジネスモデル創出支援や、農業の推進に取り組んでいきます。



お問合せ先

【I □ TOP 横浜 に関すること】	経済局産業連携推進課長	岩船 広	Tel 045-671-2574
【実証実験のフィールド (農地) に関すること】	環境創造局農業振興課長	田並 静	Tel 045-671-2606

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。